

困難を乗り越える地域のつながり



(上)「やしまや」で八島哲郎さんの話を聞く一行(下段右)八島さんの講話をもとにディスカッション(下段中)「やしまや」での昼食は素材の多くが地元産(下段左)筆甫地区の自治組織が運営する「ふでいち」でおみやげ探し



7月25日、「みやぎSDGs塾」第3ターム後期のプログラムとして、丸森町方面への視察バスツアーが開催されました。参加者は台風での被害を乗り越えた現地の人の体験談などを聞き、地域づくりについて考えました。

第3ターム

みやぎSDGs Farm

第28号

2024年8月31日(土)

発行：河北新報社営業局
特別協力：SDGsとうほく

丸森町へ視察バスツアー

災害から日常を取り戻す

視察バスツアーの一行が最初に訪れたのは、丸森町西部の耕野(こうや)地区にある「いなか道の駅やしまや」です。同店を営む八島哲郎さんはツアー参加者に向け、過去に何度も耕野地区を襲ってきた水害について報告。特に2019年の台風での被害の大きさと、その後の営業再開までの経緯などについて資料を交えて説明しました。

八島さんは被災した店の営業を再開できた理由として、お客さまとのコミュニケーションを大事にする営業スタイルによって人とのつながりが多方面にできていたこと、つながりのある人がSNSを通じて情報を共有し、手伝いに集まってくれたことなどをあげました。

家族で小売店を経営する参加者は「人と会わずに物を買う時代だからこそ自分の店では対面での販売を大事にしたい」と思っているのが、共感できる部分が多かったなどと感想を話していました。

災害から日常を取り戻す

参加者の声 人の心に寄り添う仕事を

災害後に人と人のつながりの中で暮らしを取り戻してきた地域の話聞き、私自身、今まで以上に、人の心に寄り添うような姿勢で業務に携わっていきたく感じました。そのためにも、普段から、人とのコミュニケーションを大事にしたいと思います。



宮城県民共済 長牛麻美さん

みやぎSDGs塾って?

国連が提唱する「SDGs(持続可能な開発目標)」を軸に企業や個人が連携し、豊かな地域づくりを目指す取り組み「みやぎSDGsファーム」の基幹プログラム。SDGs活動を推進する人材「みやぎSDGsアンバサダー」を養成する「標準コース」と、具体的な事例の発展に向けて議論する「実践コース」の2講座が開講され、2021年から河北新報社が運営しています。

参加はこちらから!

みやぎSDGs Farm

賛同企業 募集中!!

公式HP およろしく お願いします

[申し込み・問い合わせ]
河北新報社営業局
TEL / 022-211-1318
MAIL / koukoku@po.kahoku.co.jp

地元産素材で、人と自然にやさしい製品を作る



各々が選んだ布でミツロウラップ制作を終え、完成品を持って笑顔のツアー参加者たち

ミツロウラップ体験

ツアー参加者はこの日、食品の包装や保存のほか食器代わりに繰り返し使えるミツロウラップの制作にも挑戦しました。教えてくれたのは、丸森町内の養蜂園でとれたミツロウを使ったミツロウラップの製造・販売を営むマムギモリノナカの山下久美さん。参加者らは各々、選んだ布にミツロウを染みこませる作業を体験し、完成したミツロウラップをおみやげに持ち帰りました。



ミツロウラップの作り方を教えてくれた山下久美さん

地域を守る住民の結束

一行は午後、丸森町南部の筆甫(ひつぽ)地区に移動し、筆甫地区振興連絡協議会の吉澤武志事務局長の話听取了。同協議会は地区の全住民が所属する自治組織で、インシシ対策や高齢者の生活支援、日用品を扱う商店の運営など、地域の暮らしを守る活動の中心になっています。

2019年の台風の際には、地区外へつながる道路がすべて通行止めになったため住民らが自発的に重機を用いて道路を開通させたり、住民の情報を集約・共有して高齢者の支援を続けたりして苦境を乗り越える様子が報道され、筆甫地区の自治力の高さが注目を集めました。これについて吉澤さんは「普段から住民同士が結束して地域の課題に向き合ってきたからこそできたこと」と話してくれました。



「筆甫地区を再エネ村に！」を掲げて住民などが出資して設置した太陽光発電施設について話す吉澤武志さん(正面)

TOPICS

「東北地区高校生SDGsセミナー2024 夏」が環境再生保全機構 全国ユースネットワーク事務局主催、NPO法人環境会議所東北 環境甲子園共催で、8月1日にTKPガーデンシティ仙台で開催されました。東北6県から18校の高校が参加し、SDGsに関する情報提供やプラスチックのリサイクルをテーマとした基調講演のほか、交流ワークショップとして「生物多様性とSDGs」について意見交換を行いました。最初は緊張した様子だった生徒たちも、意見を交わす中で徐々に打ち解け、笑顔あふれる交流となりました。【情報提供/環境再生保全機構】



第3ターム参加者(敬称略)

【あすなる学院】齋藤学【荒町商店街振興組合】庄子康一、伊藤悠香、駿河真樹子【YES工房】大森丈広【エントワデザイン】佐藤寛和【オフィス塩騷】加藤貴伸【環境再生保全機構】【高速】高橋篤【国分東北】佐藤悟、種田友友【スタイルズグループ】千田佳子【ソーシーブルソリューションズ/多賀城工場地帯連絡協議会】大谷哲也【タイハク】長坂孝裕、南條世紀、玉川知樹、加賀玲【竹鶏ファーム】赤淵利恵【蜂屋食品】蜂屋和彦【大日本印刷】阿部巧、小泉一也、矢島迅人、阿部颯、大沼真洋【日建リース工業】内藤健介【日立ソリューションズ東日本】小岩井尚文、大栗千翔【フクダ・アンド・パートナーズ】加藤祐、阿部真美【松島蒲鉾本舗】葛西健太郎【宮城県民共済生活協同組合】草薙聖樹、遠藤早織、長谷朋佳、佐山道大、鈴木良太、長牛麻美【ミライトス】鈴木圭介【山一地所】原田千純、熊谷健太郎【山一】高橋拓宏、本郷友恵、三上明子【WACO CREATE】岩村和哉、岩村優香【個人】千葉よかこ【尚綱学院大学】大沼晃太郎、猪野拓歩、森啓輔【宮城大学フードサービス論研究室】齋藤真里奈、曾根咲桜、高屋奏太、永澤美咲、由比一光【オブザーバー】紅色晶子、高橋好郎、高浦康有

賛同企業・団体・個人

株式会社 日立ソリューションズ東日本

都道府県民共済グループ 宮城県民共済

SUIKOO 大日本印刷 DNP 環境再生保全機構 尚綱学院大学 日本製紙株式会社 みやぎ生協 山一地所

yamadai あすなる学院 エントワデザイン 株式会社 高速 国分東北 STYLES GROUP 竹鶏ファーム 日建リース工業株式会社

蜂屋食品 F&P 松島 ミライトス株式会社 荒町商店街振興組合 YES工房 オフィス塩騷 多賀城工場地帯連絡協議会 WACO CREATE 千葉よかこ

特別協力 SDGsとうほく 協力 宮城県 JICA東北 尚綱学院大学SDGsセンター 宮城大学フードサービス論研究室